



2024 年度 市政懇談会
＜町田第一地区町内会・自治会連合会＞

次 第

[日時] 2024年10月23日(水) 18:30 ～ 20:00

[場所] 文学館 大会議室

司会進行： 市民協働推進担当部長 横山 法子
町田第一地区町内会・自治会連合会
副会長 熊坂 恵司

○ 連合会長の挨拶

町田第一地区町内会・自治会連合会 会長 平本 勝哉

○ 市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 客引き禁止条例の制定について

【防災安全部】

- 2 町田駅周辺開発推進計画の対象エリアの拡大について

【都市づくり部】

- 3 町田市の国際協調と多文化交流について

【文化スポーツ振興部】

- 4 町田市公共施設再編計画について

【政策経営部】

- 5 学校統廃合に伴う学区と建て替え計画について

【学校教育部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 町田第一地区町内会・自治会連合会 副会長 熊坂 恵司

**２０２４年度 町田第一地区町内会・自治会連合会 市政懇談会
議事録(要旨)**

[日 時] ２０２４年１０月２３日（水）１８：３０～２０：００

[場 所] 文学館 大会議室

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

政策経営部長 神蔵 重徳

防災安全部長 大貫 一夫

文化スポーツ振興部長 老沼 正彦

都市づくり部長 萩野 功一

学校教育部長 石坂 泰弘

市民部市民協働推進担当部長 横山 法子

町田第一地区町内会・自治会連合会長 ほか１２名

事務局 市民部市民協働推進課５名

司会進行：市民協働推進担当部長

町田第一地区町内会・自治会連合会副会長

○連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第１部 地域の議題に関する意見交換

１ 客引き禁止条例の制定について

町田市は、町田駅周辺開発推進計画を進めています。しかし、駅周辺には、昼間から客引きがいます。このような街では、開発を進めてもよい街にはなりません。７月１８日のタウンニュースには、客引き禁止条例の制定を中対協が中心となり検討している旨が記載されています。

町田市の現状の認識と条例制定への取り組みをご説明ください。

【回答】

防災安全部長

「１ 客引き禁止条例の制定について」お答えします。

はじめに現状の認識についてでございますが、2023年5月に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症となったことに伴い、夜間において居酒屋等の客引きが増加し、繁華街の景観やイメージの毀損などの悪影響を及ぼしております。

そのような状況の中、町田駅周辺におきましては、東京都迷惑防止条例で違反となる「通行人につきまとう」などの悪質な客引きは少ないものの、都条例に抵触しない客引きは一定数存在していると認識しております。

町田市では、町田市中心地区商業振興対策協議会や町田第一地区町内会自治会連合会の代表者などで構成する「町田駅周辺治安対策連携会議」を2023年12月に設け、当該地区における客引き等の対策について検討を重ねております。具体的には、町田駅周辺における犯罪情勢の共有や客引き行為等の現状確認、先行事例である立川市の視察などを行っております。

引き続き、「町田駅周辺治安対策連携会議」において、町田駅周辺における客引き等の状況を踏まえた、行政と地域の協働による、より効果的なパトロールの実施や客引き等防止に関する啓発方法、市独自の客引き行為等の規制に関する条例の必要性などについて検討してまいります。

《質疑》

原町田一丁目町内会

今年初めて町内会長を引き受けましたが、経験が浅いもので失礼な言葉が出るかもしれませんが、ご容赦ください。

客引きについて、駅前で非常に不愉快な思いをされている方が多いというのは私自身非常に感じておりますが、そういったことについて、もう少し突っ込んだご意見とかクレーム、具体的にこういう問題が出ているよというのはありますか。

防災安全部長

客引きについては、つきまといがあれば、ある程度は警察が指導はできるのですが、立っている人たちはよく知っていて、それ以上つきまとうと自分たちが警察から指導を受けてしまうのが分かっているので、その場で立って一歩二歩歩くぐらいでやめて、また引き上げるみたいなたちごっこが多いという状況にあります。

原町田五丁目町内会

対策としてここで言っているのは、条例化ということがあるのですが、条例化を積極的に進めていく方向なのか、それともほかに何か対策があるのか。それから、条例がどの程度効果があるのか、その辺をお知らせいただければ。

防災安全部長

今の条例の話は、必要性に関して今後検討させていただくところで、今、連携会議の中でも立川市が先行して条例化したり、新宿がやっていたりしているのですが、市の職員が指導するのは有効性がないというところは我々が今研究している中で感じています。23区、多摩26市、東京都全体の中でも条例化した自治体はさほどありません。立川市には条例があるのですが、7,000万円から8,000万円の費用を客引き対策にかけています。まず、民間企業に委託で5人ほど毎日夜回りをしていただく、市で会計年度任用職員で5名、約10名の方たちが町を練り歩く形のパトロール、我々は月に2回ほどパトロールはやっているのですが、そうではなくて、立川市はそのぐらいお金をかけてやっています。立っている方が少なくなっているというのはありますが、指導によっての効果は今、我々が検証している中ではまだまだです。ただ、今後、いろいろな市町村との連携のもとに考えていきたいとは考えていますので、どうぞよろしくお願いします。

原町田二丁目旭ヶ丘自治会

こちらの件で実害という点では、若い女の人とかが歩くのが怖いというのが一番大きくて、紳士の方々がボッタくられるとか、そういうのは勉強代で済むのですが、若い女の人だけで夜9時ぐらいに仕事から残業して帰ってきたときに、あそこを帰るのが不安とか、そういうことが実害としてはあるというのをフィードバックとして差し上げたいと思います。

防災安全部長

そういう110番が多くて、高校生が塾帰りに、その通路を通りながら行くときに、強面の人たちが立って、声をかけないにしても、そこを通るだけでも、そういった人たちがいることで景観上、非常に悪いということで、また、通勤帰りの女性たちも、帰ろうとしているのに、飲み屋に行きたくもないのに、呼び止められて、どうですかというようなお話もあったりするみたいです。我々のパトロールの中でも、できれば強化していきたいとは考えております。とにかく子どもさんたちが怖い思いをしないようなまちづくりを今後していかなければいけないと思いますので、よろしくお願いいたします。

(司会) 地区連合会副会長

体感治安の改善というのは、どうしてもいちごっこのことが多いですし、行政も、お金をかけて直るということでもなさそうですが、日々努力をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

2 町田駅前周辺開発推進計画の対象エリアの拡大について

町田駅周辺は駅前再開発から50年近くの月日が経過し、将来のモノレール計画も見据えて、新たなまちづくりが求められています。

町田市では町田駅周辺開発推進計画が示されました。大いに期待しておりますが、示された計画では、森野並びに原町田6丁目等小田急町田駅周辺を中心に計画され、従来の中心市街地全体の計画がよく見えません。

原町田1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、森野、中町等もう少し広いエリアの計画を進めていただきたい。

【回答】

都市づくり部長

町田駅周辺のまちづくりにつきましては、2016年に地域の方々（中心市街地活性化協議会）とともに策定した「中心市街地まちづくり計画」に基づき、まちの賑わいや活気を高める様々な取組を進めております。

そのうち、「町田駅周辺開発推進計画」は、「中心市街地まちづくり計画」で掲げた大規模店舗等の更新や、土地の高度利用など駅周辺の開発を進め、魅力ある駅前空間づくりに取り組む計画でございます。

「町田駅周辺開発推進計画」を推進することで、街の回遊性をより一層高め、中心市街地全体に波及効果を生み出すまちづくりを実現し、これからも周辺都市を牽引する拠点として発展し続けることを目指しております。

「町田駅周辺開発推進計画」以外の「中心市街地まちづくり計画」の取組としましては、原町田大通りの滞留空間の整備や、原町田中央通り及び文学館通りの無電柱化等を進めております。2025年2月には、原町田大通りの滞留空間整備が完了し、旧民間交番跡地にオープンする「交流拠点」と併せて、まちに新たな憩い、賑わいを創出してまいります。

また、中心市街地直近の芹ヶ谷公園では、美術館での美術品鑑賞に加え、町田の多様な文化芸術活動や、公園の豊かな自然を体験しながら学び楽しむことができる「芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム事業」を進めており、そのうち、（仮称）国際工芸美術館につきましては、2027年9月の開館を目指し事業を推進しております。

さらに、JR町田駅の南側については、「南の玄関口のまちづくりプロジェクト」として、再整備を進めてまいります。築40年以上になる原町田一丁目市営駐車場の老朽化対策を含め、現在、駐車場の建て替えと合わせた周辺用地の一体的な土地活用について、JR東日本等と協議を進めているところでございます。

《質疑》

（司会）地区連合会副会長

議題の内容よりも盛りだくさんの計画があるということのご説明をしてい

いただきました。この点について、何かご意見、ご質問等があればお受けしたいと思います。

原町田四丁目第一町内会

私から質問したいのは、今、南口玄関先の駐車場はもともと今から50年前に再開発したときに、ここに駐車場の用途が必要だという点を与えた地区なのです。それと同じように、前側のところにも同じ年代に開発したところがある。しかも今の計画の策定されたものを要約して読むと、民間が50年ぐらい経つから、市は、その後押しを積極的にしていく。小田急さん、ミーナさんを含めて、あとは森野住宅なのでしょうが、今言った南の玄関口の受入れ先である商店街側にも、もう40年近く経つ市の持ち物もあるのです。この辺も積極的というのは、駅に行こうとすると、駅もバスもそうですけれども、朝晩は昇降機もエスカレーターもエレベーターも何もない。駅のほうに歩いて行って、駅のホームに降りるのも階段しかない。

例えば、市長がせっかくお金をかけて町田バスセンターを整備されて、観光バスがここに入ってくればいいのですが、実際に観光バスをここへ止めても、お年寄りが階段を使って、うちの母は車椅子ですけれども、ここは朝ちょっと早いと車椅子が上がれないのです。この辺も、もともとの街区として今から50年前に制定されて、回遊化をするために整備をするというのであれば、そういう計画があったわけですから、この辺も何か商業施設とは言わないけれども、例えば会社を積極的に誘致してオフィスとして使えるような場所、これから橋本に中央リニア新幹線が来るわけですから、町田は橋本まで10分ですから、ここにそういうものを積極的につくる計画を立てていただきたいという要望が地元はずっと昔からあったのです。その辺の検討をお願いしたいと思います。いかがですか。

都市づくり部長

過去から昇降機関係というのは、私も道路にいるときからも伺っておりますが、時間帯の問題なのかなと思っています。ターミナルプラザのエレベーターを使って上がることができて、バスターミナルも朝から夜の稼働時間をバスの時間に合わせられるのかどうかは今後の検討課題だと思います。エレベーターはありますので、稼働時間については課題として、バスの発着時間なども加味し担当部署と調整をしていきたいと思っています。

原町田四丁目第一町内会

もう一つ言うと、バスターミナルに降りるのも片方しかないのです。上がるのがないのです。片方向しかないのです。エレベーターも1基しかないです。

都市づくり部長

増設というのは、今すぐできますとはお答えしづらいのですが、まずエレベーターを使っていたきたいと思います。今、駐車場のほうは老朽化が進んでおりまして、その部分については早々に手をつけていかなければいけません。優先的にやることにしておりますので、それを見据えながら、エレベーターなども今後の課題として考えてまいりたいと思います。

原町田一丁目町内会

盛り下げるような質問で申し訳ないのですが、この地図の中で一丁目ではにぎやかな場所になる天満宮の地域が一切触れていません。我々一丁目は駅の南、マンションがずっと建っているのですが、これはあくまでも町田なのです。ところが、我々にとって一丁目は国鉄の原町田なのです。今も掲示板一つとっても、何をやるにも昔の原町田駅なのです。それこそ戦前にはいろいろな施設があって、天皇陛下もＪＲで原宿から町田まで来て行動されていたと思います。非常に立地条件がいい場所のはずなのですけれども、誠に残念でならないのです。

私も自転車で一丁目の掲示板とか回覧板を回しているのですが、どこへ行っても砂利道で、私も何回も自転車で転んでいます。あれだけのペーパー爆弾ではないのですけれども、回覧板の量だけでも、自転車に積んでいくととんでもない量なのです。砂利道のぬかるんだところで何回転んだか。この間、天満宮の前の自転車屋さんにいつも修理に行くのですが、月１回ぐらい修理に行っています。毎回、１万円ぐらいの修理代を取られているのです。そういう意味では、申し訳ないのですけれども、一丁目は車椅子の方とか弱者の方が「町田シバヒロ」に行ったり、向こうの大きい公園へ行くというのは難しいのです。

隣の成瀬駅には、ちゃんと車椅子も自転車も乗れるエレベーターがついているのです。なぜ町田の駅には自転車や車椅子が乗れるエレベーターがないのですか。いつも町内会の仲間と論議させていただいているのですが、一丁目は本当に孤立した町になってしまっている。しかも高齢化、この間のいろいろなイベントでも、少子高齢化になって子どものイベントがみんな中止になってしまった。神輿も担げない、子どもも集まらない。子ども会って何なのだろう。私も、今年初めて町内会長を担当させていただきましたが、その非難ごうごうで辛い思いをしています。その辺のお考えを聞かせてください。

都市づくり部長

まず、砂利道というところですが、こちらの区域で砂利道の具体的な場所を教えていただければ、道路部と調整しながら、市道であれば補装をかけることは可能だと思います。ただ、それが民地、個人が所有している道であったりすると、それは市が手を出しませんので、具体的な場所を今後何かの機会に道路

部へお伝えいただければと思います。

もう1点が一丁目の方が線路を渡って北側へなかなか行きづらいという状況があるとのことですが、今、南の玄関口として一丁目の駐車場をJRとともに協議して、何らかの形で再編していくことを考えています。その中で例えばエレベーターを人と自転車が乗れるものにして、通路は自転車を押していく、その様なことができないか、南の玄関口を考える際には考慮していきたいと思っています。

（司会）地区連合会副会長

一丁目町内会の方、個別の砂利道の件は市役所とよくご相談していただいて対策を考えていただければと思いますので、よろしくお願いします。

3 町田市の国際協調と多文化交流について

町田市には近年多くの外国人が居住し、就労し、街を訪れる外国人も増加しております。同時に地域と上手に関わって頂けるような施策も求められています。

町田市の国際協調と多文化交流の現状を説明いただきたい。無秩序にならないようにお願いします。

【回答】

文化スポーツ振興部長

町田市の外国人住民は2024年10月1日時点で9,712人となっており、国別では、中国の方が最も多く、次いで韓国、ベトナム、フィリピン、インドネシアと続いており、増加傾向にある状況でございます。

現在、市内の外国人に関する事業は、市と一般財団法人町田市文化・国際交流財団が運営する町田国際交流センターとが協力しながら進めております。市民と外国人が互いを理解し、多文化共生を実現するために、国際交流事業及び国際理解事業として様々な取組を行っております。

まず、国際交流事業では、外国人と日本人が交流する機会や、外国人に日本の文化を知ってもらう機会を提供しております。

外国人と日本人が交流する機会としては、市内のミカン農園で行うミカン狩りツアーの開催や、異国文化を知るための料理教室を開催しております。

外国人に日本の文化を知ってもらう機会としては、茶道体験会の開催や、盆踊り大会、子どもの山車巡行への参加機会を提供しております。

続いて、国際理解事業では、異文化を理解し、日本人と外国人の相互理解を深める機会を提供するために、「外国語サークル」や「町田発国際ボランティア祭り夢広場」などを開催しています。

外国語サークルは、外国人講師による語学学習を通して、外国の生活習慣や

社会、文化、歴史なども学んでいます。

「町田発国際ボランティア祭り夢広場」は、毎年秋にぽっぽ町田で開催しており、市内で活動をしている団体を中心となって、国際交流や国際協力の活動を紹介し、参加者が気軽に異文化に触れる機会となっており、たくさんの方に楽しんでいただいております。

今後も、町田国際交流センターと連携しながら、国籍の異なる人が、互いの文化の違いを認め合い、同じ地域社会で協力し合う多文化共生社会の実現に向けた取組を実施してまいります。

《質疑》

原町田二丁目旭ヶ丘自治会

この議題は、うちのほうから出たものなので、コメントします。

端的に言うと、マイノリティーというか、外国の人は弱者なのです。マジョリティーから見ると、何だ、こいつはと身構えるけれども、それ以上に身構えているのは向こうの方なのです。その点、間に立てるのは、やはり公、役所だし、外国の人から見ると、ほかにどこを頼ればいいのか分からないというのがあるから、警察というと大仰だし、役所の方が最初のセーフティーネット、相談窓口になるのです。

私も5年ぐらい前に日本に戻ってきて、その縁で外国の方とも今、町田でも結構縁があるのですが、中国、韓国系の人は、はっきり言ってネットワークが強くて、それなりに自分たちで何とかなっているのですが、そうではない東南アジア系の人は外国人のネットワークにも入れないし、日本人のネットワークにも入れないで恐らく心細い思いをされているのではないかとすごく感じますので、こちらを提案させていただきます。よろしくお願いします。

（司会）地区連合会副会長

詳細な説明もしていただきました。ただ、最初のお答えの中で国際交流センターの中でいろいろな事業やいろいろなツールがあると思うのです。そのようなものを個別で提供し、ご相談していただきながら町内会活動を進めていただければと思うのですが、部長からコメントをいただければ。

文化スポーツ振興部長

ご意見ありがとうございます。町田市でも外国人が増加傾向にある中で、国際交流センターを利用している外国人、市民課に登録の手続をしている外国人に対して、どういうことに不安を感じているか、どういうことが必要かというアンケートを今年度から始めたところです。このアンケートを1年間実施し、今後、国際交流、共生社会をどのように行政として取り組んでいくかを検討している最中です。

(司会) 地区連合会副会長

国際交流センターはフォーラムの4階にあるので、また使っていただきながら、自治会活動を活発にしていっていただければと思いますので、よろしくお願いします。

4 町田市公共施設再編計画について

町田市公共施設再編計画で、原町田、中町、森野地域の公共施設はどのように再編されるか、説明してください。

【回答】

政策経営部長

町田市の公共施設の状況につきましては、多くの施設の老朽化が進んできている一方、市の財政状況は厳しく、今ある全ての公共施設を維持していくことはできない状況です。

このような状況の中で、施設総量を圧縮しながらも、公共サービスを将来に渡って維持・向上させていくための取組が、公共施設の再編となります。

公共施設の再編に当たりましては、複数の分散して配置されている類似機能をまとめて配置する集約化や、1つの建物で複数のサービスを行えるようにする複合化や多機能化に取り組んでおります。

ご質問いただきました原町田、中町、森野地域には、市庁舎をはじめ、社会教育系施設や保健・福祉系施設など、多くの公共施設があり、現在再編計画に基づき、事業を進めております。

具体的な例といたしましては、「(仮称)子ども・子育てサポート等複合施設」の整備を進めています。

これは、1つは原町田の健康福祉会館で提供している母子保健機能と、もう1つは中町の子ども発達センターで提供している児童発達支援機能、また、市庁舎で提供している児童福祉機能を、木曽東の現在教育センターとして利用している場所に移転し、教育支援機能と併せて複合化するものです。

さらには、東京都が新たに設置を予定している町田児童相談所や、地域の利便性等に資する民間サービスも、同じ敷地内に整備します。

この複合施設につきましては、2029年にオープンを予定しており、来年2025年6月には仮設事務所にて、一部の機能がスタートします。

その他の施設につきましても、町田駅周辺の整備事業やモノレールの延伸事業と連携し、この地域の価値向上や新たな価値の創出、さらなる町の魅力向上につなげてまいります。

《質疑》

（司会）地区連合会副会長

原町田、中町、森野地域でいろいろな形で、今までは1つの建物で1つの機能しかなかったものが複合化して教育センターへ集約されるというご説明を伺いました。この点で何かご質問、ご意見等があればお伺いします。

原町田一丁目町内会

たびたびすみません。建物ではないのですが、各地域に青空広場という公園があるかと思うのです。そこに来られる人たちの車の駐車場がなく、脇に止めていてクレームがつくことがあるのですが、青空広場の公園には駐車場はつくれないものですか。

都市づくり部長

公園の駐車場は、基本的に大規模公園は原則有料で設置しています。それ以外の地域にある公園やお近くの方がメインでお使いになる公園については、駐車場は設けていません。原町田一丁目の青空広場については、東京都の都営住宅からお借りして町田市が管理している状況で、町田市が積極的に駐車場を設置することは考えておりません。

原町田二丁目旭ヶ丘自治会

つまり、健康福祉会館は廃止されるのですか。潰すのですか。

政策経営部長

健康福祉会館については、将来、新たな子ども・子育て施設ができた段階においては、母子の保健機能、健診機能等はそちらに移っていきませんが、週に何回かやっている障がい歯科が残ります。ただ、建物自体はもう築36年以上たっていますので、造り替えないといけないというところも考えていますが、今後障がい歯科をどのように実施していくのかも含め、現在検討させていただいているところです。母子保健機能の移転と同時に取り壊すという話ではないのですが、建物自体もかなり古くなってきているので、保健施設集約のタイミングには建て替え、もしくは違う場所へとか、新たな施設にどのような機能を持ってくるかはこれから検討させていただきたいと思っています。

原町田二丁目旭ヶ丘自治会

ほかにもついても似たような対応をするということですか。

政策経営部長

それぞれ築年数も違ってきますし……。

原町田二丁目旭ヶ丘自治会

物理的に潰すというか、センターをなくすということですか。物理的な建物を潰すかどうかではなくて、母子保健機能であったり、発達障がいの支援機能とか、そこから完全に木曽の複合施設に移すのか、それともそこは小規模ながら、お母さんとかが立ち寄れるような施設として残すのかが分からなくて、完全に子育てと関係ない施設になってしまうのかどうかです。

政策経営部長

先ほど申しましたように、公共施設再編というのは、まず総量の圧縮、それから機能を集約していくということがありますので、ここからはこの機能は一旦外させていただきます。木曽の教育センターへの交通の便は、健康福祉会館近隣の方は今まで歩いて行けたのにバスに乗らないといけないというのはあると思うのですが、市域全体から見たときには、市域の中心にあり便の悪いところではありませんので、ご活用いただければと思っております。

（司会）地区連合会副会長

長丁場の公共施設再編なので、多分まだこれは40年かかるのでしょうか。

政策経営部長

20年です。

原町田一丁目町内会

ちなみに、町田市の公共施設というのは町内会館は対象外なのですか。

市民協働推進担当部長

町内会館は、それぞれ管理していただいていますし、対象ではありません。

5 学校統廃合に伴う学区と建て替え計画について

学校統廃合に伴い、地区内の学区がどうなるのか、また、校舎の老朽化も心配されます。

避難所としても重要な町田第二小学校、町田第二中学校の建て替え計画について教えてください。

【回答】

学校教育部長

町田第二小学校、町田第二中学校の建て替え計画についてですが、2021年5月に策定した「町田市新たな学校づくり推進計画」と「町田市立学校個別施設計画」では、町田第二小学校と町田第二中学校ともに学校統合を伴わず単

独で建て替えることとしています。

具体的な検討に着手する時期といたしましては、町田第二小学校については、計画の第2期として、2025年度に基本計画の検討に着手、2032年度に新校舎の使用開始を、町田第二中学校については、2034年度に基本計画の検討に着手、2041年度に新校舎の使用開始を予定しています。

一方で、「新たな学校づくり推進計画」を策定して以降、急激な施設整備費の高騰もあり、施設整備の時期が遅れる可能性もあります。

《質疑》

（司会）地区連合会副会長

町田第二中学校の学区は変わるのですか。

学校教育部長

今、町田第二小学校に高ヶ坂の部分が入っていますが、町田第六小学校と高ヶ坂小学校の統合の際に、高ヶ坂小学校に移すことを考えています。あと、町田第二小学校の原町田五丁目辺りは町田第一小学校に移します。南第三小学校の原町田一丁目、二丁目の部分については、こちらに移してくることを考えています。一丁目の一部は金森の小学校になっているので、それを町田第一小学校に移してくることを考えています。

（司会）地区連合会副会長

学区の再編はあって、建て替え計画もあるということです。

それでは、ご質問を受けたいと思います。

原町田四丁目第一町内会

ちょっと遅れるというのは、どの程度遅れるものですか。数年ですか。

学校教育部長

今現在、はっきりしたことは言えません。こちらはすぐにでも始めたいとは思っているのですが、現在、急激な資材高騰のために、平準化するために計画は立てたのですが、それよりもさらに上がってしまっているので、平準化はもう少し考えないといけないので、それだけでも数年遅れます。バランスとしてもう一つあるのは、児童生徒の減少が激しい。逆に言うと、町田第二小学校はあまり激しくないのです。となると、ちょっと待ってもらおうという考え方も出てくるのです。ほかのところでもっと減ってしまうところが今見えてきてしまっているので、それも含めて修正の検討をしているところです。何年後とはっきり申し上げられないのが本当に申し訳ないです。

原町田四丁目第一町会

学校が避難所にもなっているのです。一丁目の子たちが学校に来るのも夏だととても大変ですし、あと避難所として避難してくるのに、ＪＲや町田街道を越えて歩いてくるのに、集団下校等のときにも、まずは一丁目の子たちが一番最初に出ていくのですけれども、どのくらいかかって帰っているのか。「まちとも」に遊びに来るのに、お家に帰らなくても「まちとも」には参加できるのですが、「まちとも」の後にまた一丁目のほうに、今の時期、これから日が暮れて帰るのに、気をつけて帰ってねと、「まちとも」もお手伝いさせてもらっているのです。子どもたちに声かけしていますが、暗くなってから下校している状態が今あるのです。昔から一丁目は町田第二小学校の学区だと思うのですけれども、大変だなというのが現状なので、いいアイデアなり、避難所もそうですし、子どもたちの登下校のこと、もう少し安全面等も考えていただきたいと思います。

学校教育部長

私から登下校のことをお話しさせていただきます。新たな学校づくり推進計画を策定したときに考えたのが、歩いて２km、３０分以内で着くように、３０分といっても大人の足ではないです。子どもの足で計算した中で、通学区域は大体そういうところに収めているのです。一部それを外れるところがあるのですが、この地区はそれに収まっているので、スクールバス等ではなくて徒歩が基本です。あとは通学路の安全ということで、道路等の点検を２年に１度やらせていただいているのですが、新しい学区の編入等がありましたら、それに併せて基本計画の検討会等で新たな通学路も全部実踏して、危ないところを直すのは道路部も優先してやってくれますので、直すようにして対応はしています。通学路についてはそういう感じになります。

防災安全部長

避難所について、今の一丁目の方たちが南第二小学校にという距離の関係、今、学区の関係でお話があったのですが、災害が発生した場合の避難所になりますと、その地域の皆様方がそれぞれどこに避難するか。町田第二小学校に必ず避難しなさいではなくて、南第三小学校があったり、いろいろなところに分散型です。避難所関係者連絡会が学校単位で、近くの町内会の人たちも顔を出しながら、どのような避難所の行き方がいいのか。やはり線路を越えて行くのは危ない。県をまたぎそこは神奈川県だから行きづらいのであれば、町田市内でどのように避難ができるか、検討会に町内会の役員の方たちや学校の副校長が入っていただき、あとは町内会の皆様方と我々市の職員、指定職員と言われる者が４人、一緒になってお話をしながら、どのような避難の仕方になるのか、今検討しているところです。

（司会）地区連合会副会長

小学校の学区というのは、原町田地区、それほど広くはないとはいいいながら、端から端まで子どもの足で歩くと結構時間がかかるということで、また、個別でいろいろな場面でそのようなお声をかけていただきながら、行政とご相談していただければと思います。その点、よろしく願いしたいと思います。

時間も大分たってしまいましたが、私が担当します地域の課題に関する意見交換はこのあたりで終了したいと思います。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

第2部で、市政報告についてですが、すべて説明すると夜9時ごろまでかかってしまうので、半分くらいを説明します。

まず、東京都立の児童相談所、先ほど公共施設の再編で今の木曽東の境川団地のところへ児童相談所がそのうち行きますという話をしたのですが、来年の6月以降に八王子にある東京都立児童相談所を分割して、町田児童相談所ができて、来年6月以降に山崎保育園の隣にできます。これは仮の住まいで、さっきお話ししました旧忠生第四小学校、境川団地のところの（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設の一部に入居する予定になっております。職員は木曽山崎まで行かなければいけないので大変なのですが、我慢して町田からバスで境川団地へ行ってもらおうという計画です。

その次に、今申しました子ども・子育てサポート等複合施設の話ですが、この中に入るものは、さっき話しました教育センターと今、健福の中にある母子保健、子ども家庭センター、これは市庁舎にあります。休日準夜小児医療、歯医者さんではないほう、歯医者さんは行かないですが、休日準夜のものがこっちに行き、児童相談所があって、2029年度、5年後ぐらいに開設しようという計画で進めております。

次に、成瀬の子どもクラブ、2025年度末ぐらい、2026年の春ぐらいの整備を予定しております。

続いて、新たな学校づくり推進、今お話をさせていただきましたが、計画の対象校が全部で62校あるのですが、その再編の中身を第1期、2期、3期と分けておりまして、今やっているのは第1期です。ここに書いてあります本町田、鶴川東、鶴川西、南成瀬、南第一というのは地区の名称で、それぞれ本町田は新たに消防署の向かいに本町田ひなた小学校が、来年の4月から校長先生がそこに来て、本町田東小学校の校長先生は人事異動でどこかに行くのか知りませんが、校長先生の数が減るということです。教員の数も、もちろん全体を足したものの7掛けぐらいになってしまうという形で、本町田が本町田ひなた

小学校で、成瀬のほうは、成瀬の南成瀬小学校と南第二小学校とが1つになって成瀬小学校という名前に来年4月からなりますから2が1になる。校長先生が2人から1人になるのが来年4月です。鶴川東、鶴川西はまだ教員の数は分からないです。最後の南第一地区は、町田第一小、第二小、第四小と同様に単独の老朽化の建て替えで、どこかとくつつくことはないです。その工事をやろうとなっています。

さっき学校教育部長が言っていたのは、ここの建て替え、例えば南なら南というのが、普通、この四、五年前までは学校は30億円から40億円でやっていたのですが、今出すと120億円とか4倍ぐらいになってしまっているのです。ちょっと耳を疑う建設費の見積りが来ています。ですから、市役所の財政がパンクしそうだという話をしていたので、3年遅れますとか2年遅れますとなかなか言えない状況で、これから下がってくれるとは思えないので、結構大変なことになります。国の補助金は、基本的には7分の2なのです。7分の5は市がやらなければいけない。国の対象と単価の差があって、現実には70億円だったら、大昔は20億円、制度上そうなっているのですが、実体上は追いついていなくて、7分の1行けばいいほう、7分の1ぐらいなのです。文科省に毎年お願いしているのですが、なかなか単価が上がらない。全国どこもそうなのですが、老朽化建て替えは非常に難しい。町田市だけ建設単価が上がっているわけではないので、全国的にも厳しい状況になってきています。

町田市に住んでいると分からないのですが、学校施設は今、全国の場合は冷房をやるのにやっと追いついてきて、これから全国では体育館の冷房をしなければいけない。体育館の冷房も、三多摩でも例えば八王子市。八王子市の校長だった人が今度は教育長になったのですが、八王子市は体育館に冷房も暖房もないのです。町田市は全部とっくに終わってしまっているのですが、八王子市はこれからだということで、それが終わってから老朽化の建て替えが始まる。うちは随分前に進んでいますので、ほかの市では体育館の冷暖房はあまりないのです。しかも、全国的にはやっと耐震補強が終わったところですが、耐震補強が進んでいない。うちは2010年、十三、四年前に終わってしまっているのですが、今、全国の小中学校の耐震化が終わったところで、これから老朽建て替えとか冷房をやり始めているということです。教室の冷房も、全国はまだ終わっていないわけではないのです。ですから、非常に暑い気候になっても、小学校、中学校で夏は暖房のまま授業をやっているところが結構地方ではあります。東京は例外的に進んでいます。

続いて、小中学校給食費、第2子、つまり2人目の子から後は既に無償化になりましたが、来年の1月から1人目を含めて全部無償になります。12月の議会に補正予算を出しますが、小中学生も全部無償化になります。学校給食費を払う子どもはいなくなるということになります。どうしても学校給食が食べられない、アレルギーなどの理由がある場合には、金銭補償みたいな形になる。

ご自宅でアレルギー抜きの弁当を作ってもらわなければいけない。その場合の費用等を逆にお出しする。そうでないと、アレルギー対応で弁当を作ってくる人だけお金がかかるみたいになってしまって、学校給食を食べている人はただになってしまいますから、バランスが悪い。結構忙しいのですが、そのようなことを来年の1月からやることになります。

中学校の給食ですが、2024年9月今年の2学期から堺エリアが始まり、来年1月から鶴川エリアが始まります。来年4月からこの町田地区を含んだ町田忠生小山エリアの中学校が全員給食になります。今、旧忠生第六小学校の跡地に建設中のごさいまして、1月末建物が完成し、その後準備期間を経て4月から町田忠生小山エリアが開始となります。南エリアは、一番最後になりまして、来年の2学期から全員給食開始となっています。現在、恩田川近くにある成瀬クリーンセンターに近接して南エリア中学校給食センターを建設中です。来年の9月に全部の中学校で給食が開始できるということになります。

また、教員の負担軽減のところで給食費に続き教材費も公会計化となっていますが、給食費はこの12月までで、公会計も何もお金を取らないこととなります。ただし、学校教材費は、先生がお金を手集めすることをもうやめてしまいました。教員は、そういう手続で忙しかったのですが、給食費を集めることも教材費を集めることもなくなりましたということです。

次が高齢者、特別養護老人ホームの話です。今のところ、申し込みで1年以内に入る方が90数%です。これも町田市に住んでいると分からないのですが、例えば今、木曽の第二清風園をやっているのが賛育会で、これは台東区か何かの法人がそこもやっているのです。台東区はどうですかといったら、台東区は台東区内の特養に入れません。台東区民は茨城県とか栃木県に行かないと入れないと言っていました。あそこの法人は病院がやっていますけれども、とにかく特養自体が23区の場合は区内には建てられない状況です。一言で言うと、経済的に合わないのです。地べたが坪3000万円とか坪1億円のところに、特別養護老人ホームをつくっても全然合わないです。当然、借り賃も高いですから、介護保険の収入で都内に立地するのもまず無理です。

もう一つは、都内の全体の人件費が高いですから、周辺の給料に比べて大幅に介護保険の介護士の給料が下がってしまいますから、逆に人が集まらない。したがって、もちろん周りに合わせて給料を払えば、介護施設そのものが成り立たなくなってしまう。結局、人が来ないで介護難民のような形で、なかなか現実の在宅介護も大変な状況になっているというのが普通の市とか区の話です。うちだけ例外的に市内に特養をつくってしまして、市内に、しかも半年ぐらいで入れてしまうのはあまり例がないのです。

そういうのは学童保育クラブも同じなのです。学童保育クラブは、入会要件を満たしていればうちは今みんな入会できてしまう。でも、三多摩の新聞記事を見ると、小1の壁とかいって学童保育クラブに入れないというのが毎回記事

になっています。町田市以外のところは、実際に学童保育クラブに入るのが今大変なのです。でも、町田市の場合は、市が定めた基準に沿っていれば学童保育クラブは全員入会が可能になっています。

スポーツ公園整備の中で西田・金森調節池、この地区ではなくて隣の金森地区ですが、2028年度にスポーツ公園ができる予定になっております。

それから、木曽山崎パラアリーナですが、これは私の知っている限りでは東京都内で2番目のパラスポーツ優先体育館、アリーナです。1か所は江東区の船の科学館の横に日本財団が造っているのがあります。その次が多分町田市になると思います。健常者のスポーツが後で、障がい者スポーツが優先、空いていれば健常者も使えるというのを今、木曽山崎団地のさっきの町田地区の中学校給食センターの横に整備を予定しています。

(仮称)国際工芸美術館は、今年度内、2024年度内に着工します。2027年度に開館予定。附帯棟も2027年度の開館ですが、どちらが先かというと、版画工房だとかアート体験棟が先になって、例えば版画工房を使っている人が行き場がなくなることがないように、そちらを先に造って、引っ越すことになります。2026年度にエレベーターを造ります。エレベーターは原町田四丁目からずっと来て平らになって、右側に音楽座があって、真っすぐ来ると球が光っているのがあるのですが、それを左にそのまま水平に歩いていただいて、エレベーターに乗って垂直に下に降りてもらおう。標高差が19mぐらいあるので、行きは下っていけばいいのですが、帰りはあれに乗らないと結構しんどいので、それを2026年度までに造ろうと進めています。

次に、熱回収施設ができました。温浴施設もできました。今、資源ごみの処理施設を造るための用地買収を進めています。1年4か月後に市域全域がプラスチック分別になり、2026年度の4月からプラスチックを分別していただきます。今、横浜線の南、旧南町側が分別していますが、7分の1ぐらいしか分別していません。あと1年ちょっとすると市域全域がプラスチック分別になって、ピンクの袋を配って、黄色い袋の半額で買ってもらって、半額だからといって生ごみをそちらへ入れてはいけませんよ。半額のほうに入れても困るのですが、プラスチックならば半額で処理しますというので、なるべくプラスチックを分別してくださいというインセンティブで安くしてもらおう。それが1年4か月後に始まります。来年になると、町内会の会長さんのところにいろいろお願いをして、分別の仕方がどうだとかという話の宣伝をお願いすることになると思います。協力していただかないと、いろいろなものが混ざっていると、容器リサイクル協会で引き取ってくれないレベルになってしまうので、来年度になりましたら、お手数ですが、そういう宣伝を今からお願いさせていただきたいと思います。

何しろ三多摩26市の中で資源化率は下から2番目、25番目、町田市はひどいのです。それはなぜかというと、プラスチックを工場で燃やしているから

です。これは本当に不名誉なことなので、何とか解消しようと。不名誉というより、紙等よりプラスチックから出るプラスチックCO₂が非常に多いので、何とか分別しようという話です。

《質疑》

原町田四丁目第一町内会

いつもお世話になっております。

これはお礼です。約10年、道路管理課と協議をしてきて、コロナで3年間棚上げにされてしまったのですが、今年度、課長に頑張っていて、私の案を採用していただきました。原町田四丁目第一町内会員である町田ターミナルロード商店街の側道が、緊急車両が入る指定道路の六角平板がかなり傷んでいたのですが、その平板をはがして町田市で初めて、私が10年前からずっと言い続けた石明鏡舗装をしていただいたのです。ありがとうございます。大きな車が載っても、バスが載っても傷まないもので、歩きやすいし、雨の日も滑らないし、ぜひ市長も1度歩いてみてください。その平板を今度また再利用していただくので、大和横丁、これも原町田四丁目第一町内会の中のターミナルロードと原町田四丁目商店街の中にあるのですが、その平板が随分傷んでいるので、その平板に活用してもらうということで、一丁目の天満宮の横断歩道の下に保管をしていただいて、早速それを使って直してもらうことをお願いしてあります。よろしくお願いいたします。

2点目は、道路維持課の課長と係長に大変お世話になりまして、原町田六丁目から原町田二丁目にかけての町田駅前通りの今あるエンジュの木を全て伐採して、その後に土の入れ替えを全てしていただいて、来年度、ギンモクセイという木を植栽していただけることになりました。さらに、あまり小さいものを植えると育たないので、2mぐらいのものをお探しく下さいと注文をつけたら探しますということなので、そちらも併せてよろしくお願いいたします。

最後に、もうお一方、市民協働推進担当部長とは面識があったので、部長に電話を入れようと思ったらお忙しい。いろいろ質問をされることが多いので、その回答を市民部にとったら、市民協働推進課の方がレスポンスよくお電話をいただいて対応していただいて、私、実はお会いしたことがないのです。電話でしかやり取りしたことがないのです。よろしくお願いいたします。

○閉会の挨拶（町田第一地区町内会・自治会連合会）



“夢”かなう
まちへ

プロジェクトMAP

町田駅周辺開発推進計画

開発コンセプト

いつだってまちだ

～新たな賑わいと交流の創出～

B:まちの新たな賑わい創出による「駅前顔」



A:公共交通機関の集約と町田の「シンボル」



まちの新たな「にぎわい」「集客力」

B 地区

C 地区

A 地区

D 地区

「職・住・楽」の近接による
新たなライフスタイル

駅からまちへの便利な回遊動線

C:町田の文化や学びを発信する「交流拠点」



D:大規模なオープンスペースを活かした新たな「賑わいと憩いの空間」



いくエリア